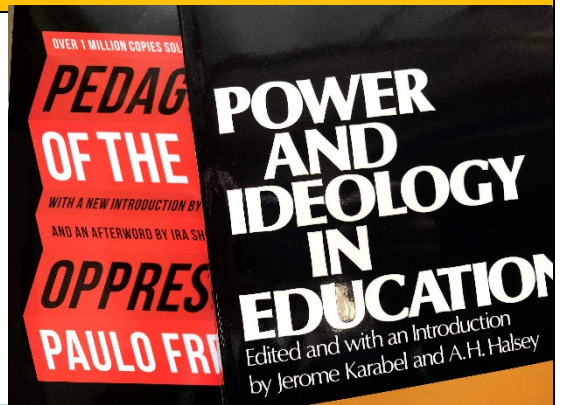


国際社会学部

教育社会学

Sociology of Education



どのような学問か

「なぜ学校に行くのか」に疑問をもったことが一度はあるのではないのでしょうか。そういう疑問をもったことがない場合でも、自分をとりまいている“教育”なるものを改めて深く掘り下げていくと、教育が社会構造と深く関わっていることに気づくと思います。教育社会学は、社会学の理論や方法論をもちいて、教育—学校だけでなく、子どもや家族なども含み—を分析していく学問なので、身近な問題意識や興味を社会学の理論・方法論で分析するのが教育社会学の面白いところです。

教育社会学の入門書は数多く出版されており、教育格差やジェンダーと教育などの具体的な課題を扱っている読みやすい本が多いです。まずはどれか一冊手に取って読んでみてくれると良いと思います。

外大の教育社会学

外語大では地域研究×教育、という関心をもつ学生が多くいます。専攻地域を深く理解するために、学校教育の現状や歴史を調べるのも有効なアプローチになります。また、外国につながる子どもたちの抱える課題について関心をもつ学生も毎年います。身近であるゆえに深い関心をもって取り組むことができるのも教育社会学の魅力です。身近な事象から社会の問題を考える楽しさをぜひ味わって欲しいと思います。

また、外語大は教職課程があり、将来教員を目指している学生も多くいます。教育への関心や問題意識を深めることは教員志望の学生にとっても大変有益なので、教員志望の学生も教育社会学を学ぶことをお勧めします。

関連する授業一覧（2023年度）

- 教育社会学1
- 教育社会学2
- 教育基礎論1
- 学校教育社会学
- 多文化社会1〔異文化理解〕
- 教師論

ゼミ

- 加藤美帆
（国際社会学部・現代世界論コース）

- 社会学
- 教育学

おススメの本

- 『現場でつかえる教育社会学』（ミネルヴァ書房）
- 『学校ってなんだろう』（ちくま文庫）

